

プレミアハウスを目指して

2012年3月期
決算説明資料
＜レジュメ＞

2012年5月18日

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社

目次

■ 2012年3月期決算上の特徴

■ TT Revolution総括

■ 新・経営計画「Ambitious 5」

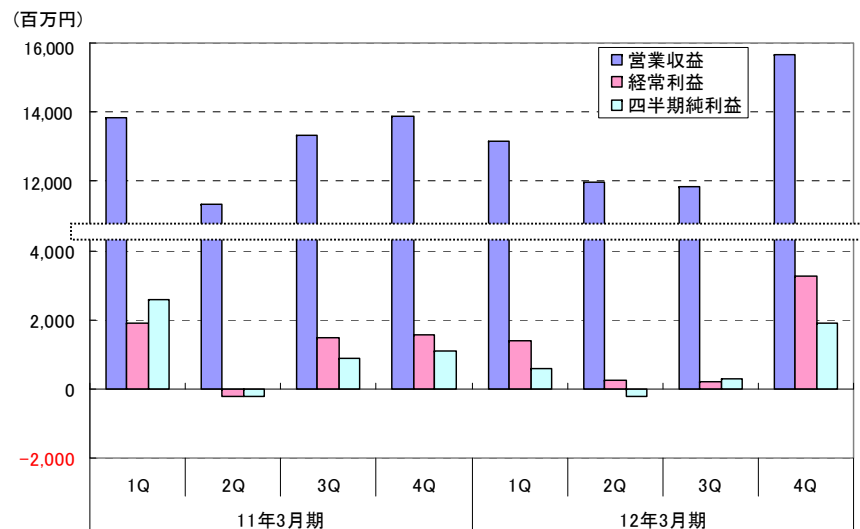
※この資料で使用する数字は、特に記載のない限り、連結に関する数字を使用しております。



2012年3月期決算上の特徴

決算概況(連結)

	11年3月期			12年3月期			前年同期比
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
	10.4.1 10.9.30	10.10.1 11.3.31	10.4.1 11.3.31	11.4.1 11.9.30	11.10.1 12.3.31	11.4.1 12.3.31	
営業収益	25,188	27,214	52,402	25,125	27,505	52,631	100
販売費・一般管理費	23,406	24,288	47,695	23,490	23,901	47,392	99
営業利益	993	2,095	3,089	778	2,585	3,363	109
営業外収益	920	1,150	2,071	1,008	1,069	2,078	100
営業外費用	169	184	354	155	208	364	103
経常利益	1,744	3,061	4,806	1,631	3,446	5,077	106
特別利益	813	74	888	58	189	247	28
特別損失	1,162	168	1,330	1,246	-691	555	42
税金等調整前純利益	1,395	2,968	4,364	442	4,326	4,769	109
法人税等合計	-954	989	34	79	1,234	2,214	6,512
純利益	2,342	1,976	4,318	357	2,188	2,545	59



2012年3月期決算上の特徴

決算上の特徴

A. 決算概況

- ① 前年度比増収増益。好調な4Qが寄与
- ② 販管費は抑制
- ③ 営業外損益は安定的に推移
- ④ 特別損失に有価証券評価減を計上
- ⑤ 11年3月期にトヨタFS証券との合併に伴う繰延税金資産を計上

B. 安定的収益構造

- ① ビジネスポートフォリオの多様化
 - ・投資銀行部門の収益比率増加
- ② プロダクトラインの多様化
- ③ 中部地区シェアが継続的に上昇
- ④ 提携合併証券会社の貢献

C. 経営指標

- ① 預かり資産の推移
- ② 営業員一人当たり収益
- ③ 収益／預かり資産
- ④ PER・EPS
- ⑤ 配当利回り



2012年3月期決算上の特徴

証券会社業績ランキング(経常利益ベース)

(単位:億円)

12年3月期(11年4月～12年3月)					
		証券名	営業収益	経常利益	当期利益
1		野村ホールディングス※1	18,517.6	849.6	115.8
2	◎	SMBC日興証券	2,512.9	446.0	195.0
3	◎	三菱UFJ証券ホールディングス	3,069.3	381.8	165.8
4	◎	SMBCフレンド証券	475.6	89.3	44.3
5	△	SBI証券	397.4	74.6	56.5
6	△	松井証券	177.0	74.3	42.6
7		東海東京FH	526.3	50.8	25.5
8		極東証券	99.0	47.4	25.0
9	△	楽天証券	208.0	41.3	26.4
10		岡三証券グループ	610.7	38.9	9.8
11	◎	みずほインベスターズ証券	478.1	33.1	17.7
12	△	カブドットコム証券※2	123.7	31.0	15.9
13	△	マネックスグループ	322.9	23.8	14.3
14		東洋証券	133.9	9.8	6.8
15		丸八証券	26.9	3.5	3.3
16		水戸証券※2	109.9	2.9	1.4
17		インヴァスト証券※2	29.4	1.8	1.9
18		いちよし証券	144.1	-1.4	-2.2
19		高木証券	60.0	-1.8	-30.1
20		光世証券※2	6.4	-2.5	0.7
21		丸三証券	144.5	-3.1	-8.0
22		藍澤證券	84.6	-9.2	-16.2
23		岩井コスモホールディングス	161.6	-33.1	-63.6
24		大和証券グループ本社	4,223.7	-122.0	-394.3
25	◎	みずほ証券	2,285.2	-498.0	-956.7

※1 米国会計基準

※2 単体決算

◎:銀行系、△:ネット証券

(各社決算資料より東海東京フィナンシャル・ホールディングス作成)



東海東京フィナンシャル・ホールディングス

TT Revolution総括

TT Revolutionの重要テーマ

- 地銀との提携合併証券の順調な業容拡大
- トヨタFS証券との統合

成長性

生産性

- 販管費の抑制
- 不採算部門の効率化
- 営業部門の効率化
- 若手育成プログラムの推進

コミュニケーション

- 株主・顧客・従業員とのコミュニケーション

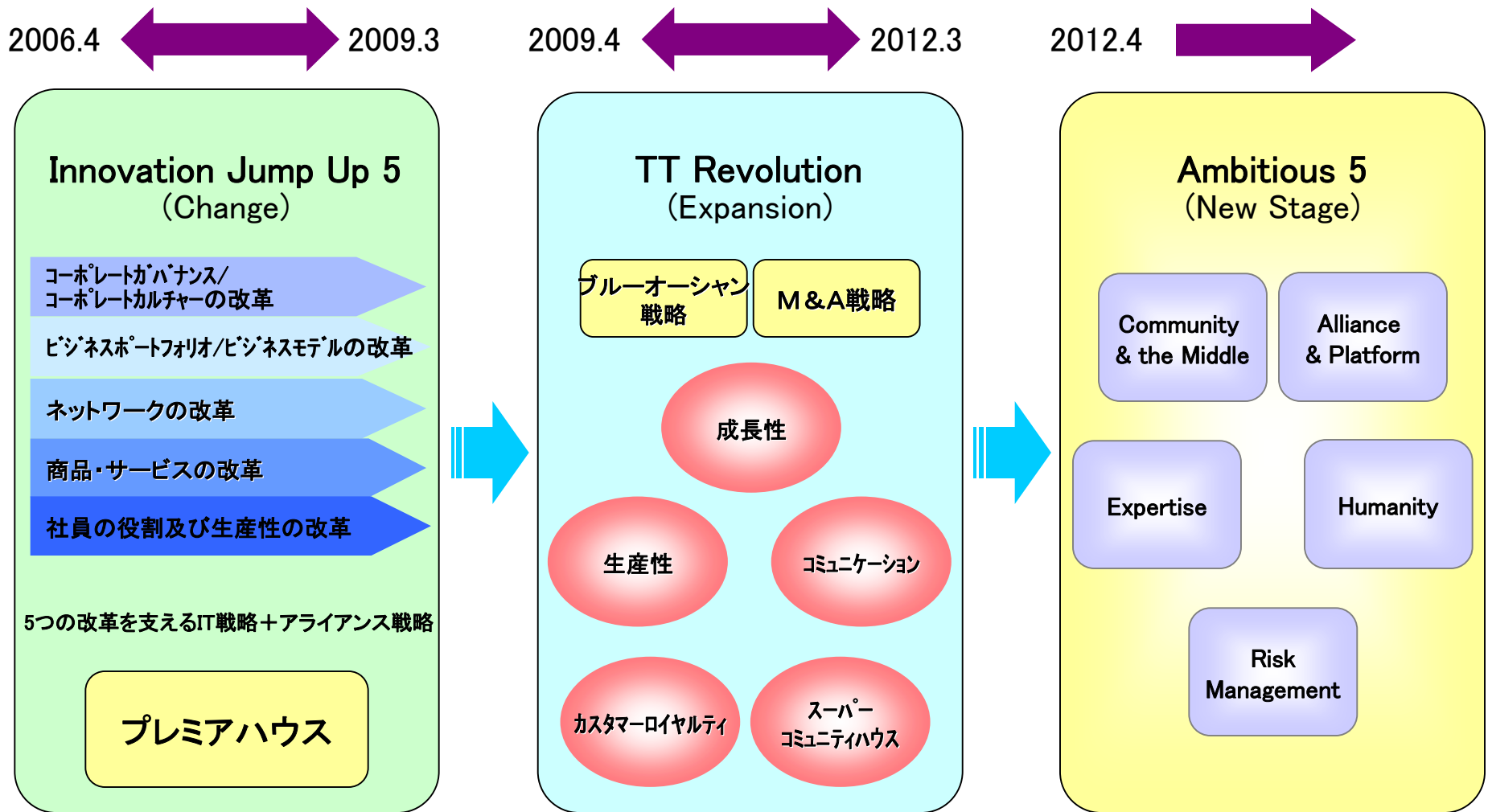
- 東海東京証券の本社移転
- 中部地区にフォーカスした富裕層対策
- 地域密着施策

スーパー
コミュニティハウス

カスタマー
ロイヤルティ

- カスタマーロイヤルティ調査の活用

新・経営計画「Ambitious 5」 当社の経営計画の推移



新・経営計画「Ambitious 5」 ～Leading Player in ASIA への道～

Leading Player in ASIA

各分野の強みを拡大・強化

独自性ある金融グループとして「Ambitious 5」

1. Community
& the Middle

戦略的地域・顧客
への特化

2. Alliance
& Platform

事業基盤の積極拡大

3. Expertise

専門的ノウハウ

4. Humanity

人間味溢れる企業

5. Risk
Management

危機対応力の強化

- (1) 営業の専門性強化
- (2) 商品の競争力強化
- (3) サービスの絞り込み
- (4) 外国証券・先端商品
デリバティブの開発

- (1) 地域の特性に応じた
組織・営業体制の構築と
人員配置
- (2) The Middle Marketで
のプレゼンス確立
- (3) 富裕層ビジネスモデ
ルの確立
- (4) カスタマーロイヤルティ

- (1) チーム力の結集(社
内の人と人)
- (2) 社会との継続的な信
頼関係構築
- (3) ダイバーシティの推進
- (4) 自己の成長、個性を
磨く

- (1) 証券会社の買収・合
併・提携による卸売りの
拡大
- (2) 証券ビジネスに必要
な機能(プラットフォーム)
の獲得・提供
- (3) 銀行機能の取り込み
- (4) アジア戦略の推進
- (5) ICT戦略の推進(各
施策の実現に向け)

- (1) リスク管理・コンプラ
イアンス態勢の強化
- (2) 効率経営の徹底
- (3) グループ力の強化
- (4) 財務基盤の強化



問合せ先

- 東海東京フィナンシャル・ホールディングス 総合企画部
- TEL: 03-3517-8618 FAX: 03-3517-8314
- E-mail: fh_ir@tokaitokyo-fh.jp

2009年4月1日をもって、当社の営む金融商品取引業を会社分割により東海東京証券株式会社（旧商号：東海東京証券分割準備株式会社）へ承継し、当社グループは持株会社体制へ移行しております。

これに伴い、同日付で、当社は東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社へ、東海東京証券分割準備株式会社は東海東京証券株式会社へ、それぞれ商号変更を行っております。

2009年3月期以前の決算は、旧・東海東京証券株式会社としての、従来の体制下におけるものであります。

- ◇ 本資料は、最新の業績に関する情報の提供を目的とするためのものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。